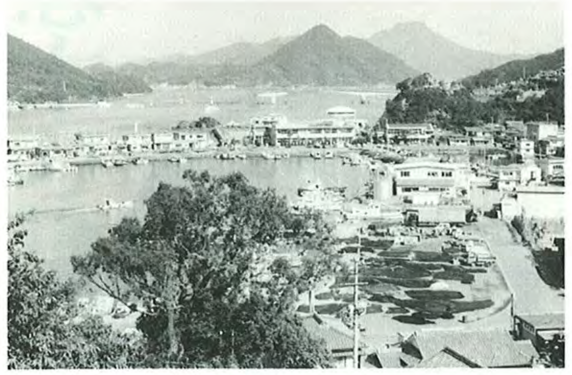
鯛と甘夏みかんの島

天草郡御所浦町



御所浦町は、天草上島の南東に位置する離島で、御所浦島、牧島、横浦島の有人島を中心に、大小十八の島々からなります。

御所浦の地名は、景行天皇西国御巡幸の折、芦北から宇土半島に向かわれた際、嵐のためこの地に立寄られ、その時行宮を置かれたことによって名付けられたといわれています。

この町の主な産物は、鯛と甘夏みかん。

鯛の養殖が非常に盛んで、いけすを守るために浮消波堤を全国に先駆けて設置したり、栄養のバランスを考慮したモイスペレット（魚肉と配合餌料を混合しペレット状に造粒して半乾燥にしたもの）の開発などで、全国の漁業関係者の注目を集めています。

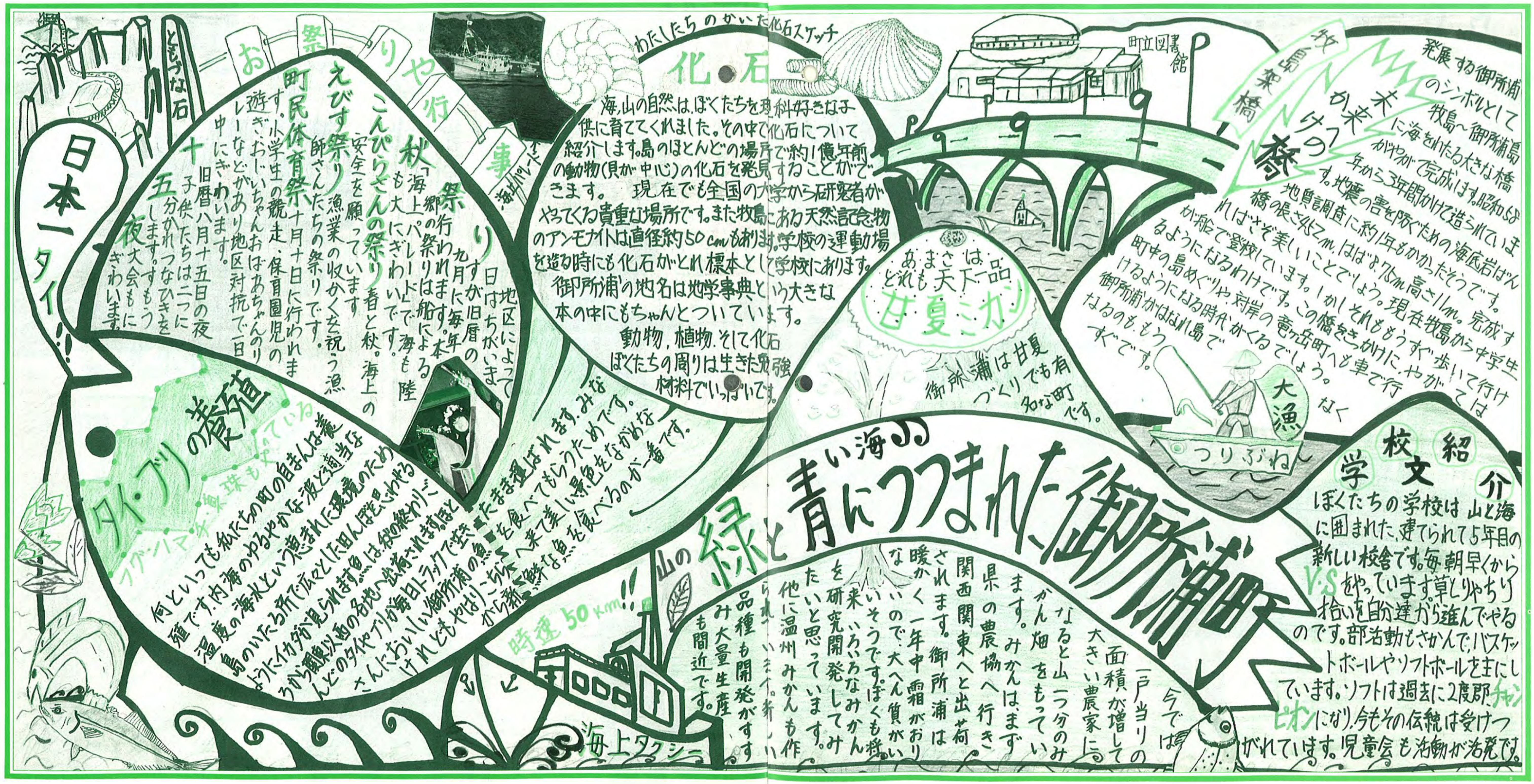
また、海洋性温暖気候に恵まれ、一年中霜が降りることがないため、特産の甘夏みかんも、長い間木に育くませることができる。"日本一の甘さ"の秘けつはここにあります。

今、御所浦島と牧島を結ぶ牧島架橋の工事が進んでおり、六十一年度には完成する予定。完成すれば、町内の往来が、さらに活発になることが期待されています。

自然色豊かで、磯釣り、舟釣りなどあらゆる釣りも楽しめる御所浦を一度訪ねてみませんか。

お問い合わせ先・御所浦町役場
（☎〇九六六九六七ー一二一一）

この新聞を制作した御所浦町立御所浦小学校のみなさん



山の緑と青い海につつまれた御所浦町

日本一タイ!!

ともづな石

お祭りや行事

海上パレード

秋祭り
地区によって日はちがいますが旧暦の九月に毎年行われます。本郷の祭りは船による「海上パレード」で海も陸も大にぎわいです。

こんぴらさんの祭り
春と秋。海上の安全を願っています

えびす祭り
漁業の収かくを祝う漁師さんたちの祭りです。

町民体育祭
十月十日に行われます。小学生の競走、保育園児の遊ぎ、おじいちゃんおばあちゃんのリレーなどがあり地区対抗で一日中にぎわいます。

十五夜
旧暦八月十五日の夜子供たちは二つに分かれつなひきをします。すもう大会もにぎわいます。

わたしたちのかいた化石スケッチ

化石
海、山の自然は、ぼくたちを理科好きな子供に育ててくれました。その中で化石について紹介します。島のほとんどの場所で約1億年前の動物（貝が中心）の化石を発見することができます。現在でも全国の大学から研究者がやってくる貴重な場所です。また牧島にある天然記念物のアンモナイトは直径約50cmもあります。学校の運動場を造る時にも化石がとれ標本として学校にあります。
御所浦の地名は地学事典という大きな本の中にもちゃんとついています。
動物、植物、そして化石
ぼくたちの周りは生きた勉強材料でいっぱいです。

町立図書館

牧島架橋
未来かけの橋
発展する御所浦のシンボルとして牧島〜御所浦島に海をわたる大きな橋がやがて完成はす。昭和58年から3年間かけて造られています。地震の害を防ぐための海底岩ばん地質調査に約1年もかかったそうです。橋の長さ545m、はば8.75m、高さ11m。完成すればさぞ美しいことでしょう。現在牧島から中学生が船で登校しています。しかしそれももうすぐ歩いて行けるようになるわけです。この橋をきっかけに、やがては町中の島めぐりや、対岸の竜ヶ岳町へと車で行けるようになる時代がくるでしょう。御所浦がはなれ島でなくなるのも、もうすぐです。

つりぶね

大漁

タイ・ブリの養殖
フグ・ハマチ・真珠もやっているね
何といっても私たちの町の自まんは養殖です。内海のゆるやかな波と適当な温度の海水という恵まれた環境のため島のいたる所で広々とした田んぼを思わせるようにイカダが見られます。魚は秋の終わりごろから関東以西の各地へ出荷されます。ほとんどのタイやブリが毎日トラックで生きたまま運ばれます。みなさんにおいしい御所浦の魚を食べてもらうためです。けれどもやはりこちらへ来て美しい景色をながめながら新鮮な魚を食べるのが一番です。

時速50km!!

海上タクシー

あまさはどれも天下一品
甘夏ミカン
御所浦は甘夏づくりでも有名な町です。

今では一戸当りの面積が増して大きい農家になると山一つ分のみかん畑をもっています。みかんは、まず県の農協へ行き関西関東へと出荷されます。御所浦は暖かく一年中霜がおりないので大へん質がいいそうです。ぼくも将来いろいろなみかんを研究開発してみたいと思っています。他に温州みかんも作られています。新しい品種も開発がすすみ大量生産も間近です。

学校紹介
ぼくたちの学校は山と海に囲まれた、建てられて5年目の新しい校舎です。毎朝早くからV・Sをやっています。草とりやちり拾いを自分達から進んでやるのです。部活動もさかんで、バスケットボールやソフトボールを主にしています。ソフトは過去に2度郡チャンピオンになり、今もその伝統は受けつがれています。児童会も活動が活発です。